

令和6年度「めざせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト 受賞作品概要

別紙

(敬称略)

表彰	氏名	都道府県名	作品	作品の説明（応募内容から転記）
内閣府特命担当大臣 (消費者及び食品安全)賞	あんどろ ももか 安藤 百花	神奈川県	フードロス 残していいのは 笑顔だけ	ご飯が食べ終わった後食べ物が残っているのではなく、それをすべて食べきり、「美味しかったね」と笑顔だけが残っていて欲しいという思いから作りました。食べ物ではなく笑顔だけが残っている食卓になって欲しいです。
消費者庁長官賞	ますだ こうじ 増田 浩二	静岡県	規格外 人も野菜も 味がある	見た目だけで野菜が選別されることもフードロスが増える原因ではないでしょうか。
	あらかわ じゅんじ 荒川 隼至	大阪府	おいしいね 年に一度の 保存食	保存食は基本的に放置するため、賞味期限を忘れがちであることから、一年に一度くらいは消費して新しいものに変えましょうという啓蒙の俳句。防災の点からも好ましい。
審査委員賞	ペンネーム：どんぐり	滋賀県	皮ごとは ズボラじゃないの ロス削減	野菜や果物はなるべく皮ごといただくようにしてロス削減を心がけております。
	おがわ しょうじ 小川 昭二	東京都	余りもの パズルのように 組み合わせ	冷蔵庫の中にある余りもの食材を組み合わせで試行錯誤しながら作るのも、料理の醍醐味だったりします。
	ふくい ひろあき 福井 洋明	静岡県	規格外 食品にまで ルッキズム	規格をはずれた食品が目目で判断されず、有効利用されることが重要だと思います。
	うえだ ゆうま 上田 悠真	福岡県	しょくじごの ごちそうさまの こえがすき	食事をしたあとにごちそうさまと言うことで、終わりがスッキリして次食べるときにスッキリした気持ちで食事を始められるといった自分の経験からこの川柳を考えました。
	ペンネーム：カワサン	大阪府	今日もまた おにぎり一個 捨てる国	日本のフードロスは国民一人当たり一日におにぎり一個だそうです。